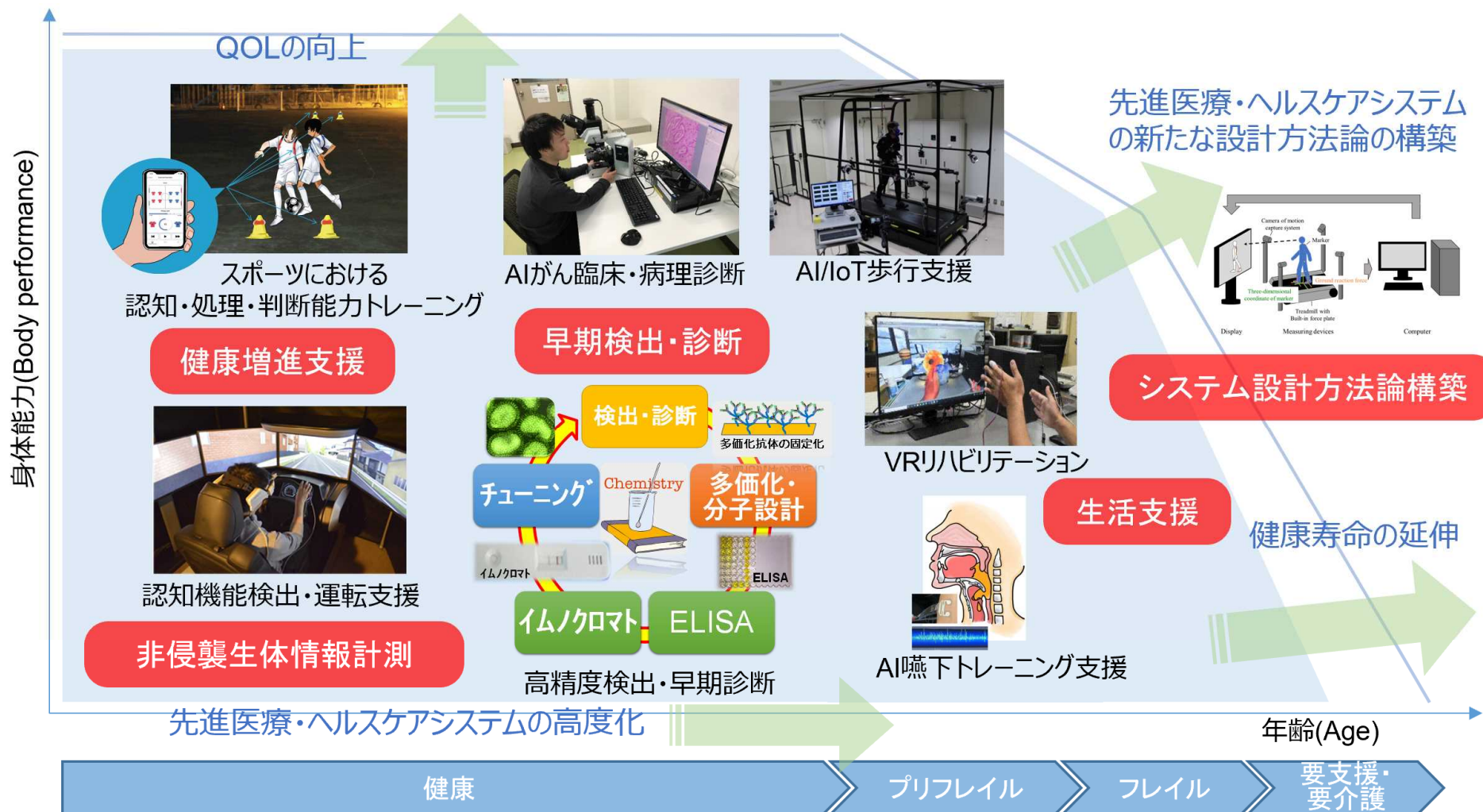


健康科学研究領域

人に寄り添う技術で生活に活力を
Empower better lives with assistive technology innovation

健康科学研究領域においては、健康寿命の延伸や新たな生活様式への対応を念頭に、健康科学、早期診断技術、感性認知工学、人間支援工学の研究成果の応用領域への展開を目指して、サイバー空間とフィジカル空間の融合による新たな価値の創出により、先進医療やヘルスケア分野における先進的な研究開発を行い、社会的課題や地域課題の解決に貢献するとともに、当該分野の研究開発を行える実践的な人材育成を行い、当該分野の発展に貢献することを目標とする。DX、AI、IoT、VR、HMI技術の健康科学分野への応用、IoT技術を用いた非侵襲生体情報計測技術、AI技術を用いたがん臨床検査・病理診断技術、人に寄り添った生活支援・リハビリテーション技術、糖鎖や抗体などの多価化による活性向上技術およびウイルスマーカーへの応用、蛍光検出試薬の検出感度向上技術などの研究を行い、先進医療・ヘルスケアシステムの新たな設計方法論の構築およびシステムの高度化に関する研究開発を推進する。



健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の延伸およびQOL（生活の質）の向上